

2025 年 9 月 1 日

各 位

一般社団法人 全国労働金庫協会

『ろうきん SDGs Report 2025』を発行しました ～人々が支え合う共生社会の実現に向けて～

一般社団法人 全国労働金庫協会（東京都千代田区、理事長・西田 安範）は、2019 年 3 月に策定した「ろうきん SDGs 行動指針」に基づき、全国のろうきんが 2024 年度に展開した様々な取り組みを紹介する『ろうきん SDGs Report 2025』を発行しました。

本レポートを通じて、SDGs の取り組みに向けた「共感の輪」が広がっていくことを願います。

記

■ろうきん SDGs Report 2025

『ろうきん SDGs Report 2025』では、全国のろうきんが、労働組合・生活協同組合などの会員や労働者福祉に関わる団体、協同組合、NPO、自治体などと連携して行ってきた、地域に根差す特色ある取り組みをご紹介します。当協会ホームページより、デジタルブック（全 32 頁）をご覧ください。（労金協会ホームページ：<https://all.rokin.or.jp/about/sdgs.html>）



表 紙



SDGs取り組み実績報告



ソーシャルビジネスへの融資事例紹介

■ろうきんがめざす「人々が支え合う共生社会」の実現への取り組み

ろうきんでは、労金運動を通じた勤労者の生活向上という、ろうきんの使命を徹底追及することを通じて、SDGs 達成に向けた協同組織金融機関としての役割発揮と社会への貢献に取り組んでいます。また、ろうきんだけでは解決できない、はたらく人の「働くこと/暮らすこと」に関わる社会的課題（子育てや介護等）の解決に向け、会員・地域と協同し、「人々が支え合う共生社会」の実現をめざしています。



2025 年は、国連が定めた「国際協同組合年」です

国連は、様々な分野で SDGs に貢献している「協同組合」を評価し、2025 年を国際協同組合年(International Year of Cooperatives:IYC)に決めました。ろうきんは、協同組織の福祉金融機関として、2025 国際協同組合年(IYC2025)に賛同しています。

以上